

イアンサ . S . ライズリー RI会長テーマ  
 『ロータリー：変化をもたらす』  
 2820地区スローガン  
 『未来へチャレンジ』



ROTARY INTERNATIONAL

大洗

OARAI ROTARY CLUB

2017~2018年度  
 会長 大山 岳夫  
 幹事 加部東孝浩



前回の例会報告

第2141回例会8月3日(木)

於・例会場 PM 0 : 30~1 : 30

- 点鐘 大山会長
- 国歌斉唱
- ロータリーソング “奉仕の理想” 斉唱
- 四つのテスト唱和 ソング 湯浅委員長
- 出席報告 関根委員長

日付	出席	欠席	メーク	出席率	天気
7月27日	23	3	2	89.29%	曇

- 委員会報告 木村委員長
- ★雑誌委員会
- ロータリーの友 8月号の紹介
- ヨコ P3→「RI 会長メッセージ」  
 …ロータリーに費やした時間、金額、を数字で記録する。  
 そこに「ロータリーって何か」、「ロータリーは何をするのか」の答えが見つかる。
- ヨコ P8→会員増強・新クラブ結成推進月間についての記事
- ヨコ P9→「衛星クラブからロータリークラブへ」
- ヨコ P15→「ロータリー地域社会共同隊 (R.C.C)」  
 …ボランティア団体にロータリークラブがスポンサーとなる活動
- ヨコ P32→「米山記念奨学事業の基礎知識」  
 …米山の現状について
- ヨコ P38→「第 2820 地区大会の略報」
- ヨコ P39→「RI 会長エレクト死亡」のニュース  
 …後任が未定である。
- ヨコ P42→「友」の投稿要領
- ヨコ P47→「滬尾」は読めないのでもルビが欲しい。  
 …滬は上海の異名
- タテ P22~23→川柳  
 「見かけより心が大事と美女が言う」  
 秀逸「ボケに効く薬を貰い飲み忘れ」
- ヨコ P18→「奉仕とサービス」…英文と和訳の差
- 幹事報告 加部東幹事
- ・幹事メモの報告
- 会長の時間 大山会長

本年度の国際ロータリー (RI) の年次大会が正式に 2018 年の 6 月 23 日~27 日にトロント (カナダ) で開催されることとなりました。過去大洗 RC として参加したのは、私が知る限りでは 2004 年の大阪、1994 年の台北 (台湾) での大会です。2019 年は、ハンブルク (ドイツ) で 6 月 1 日~5 日に開催される予定です。参加する計画をたてたいと思います。  
 ○卓話 「会員増強委員会」 吉川会員組織強化委員長



いかに会員の増強を図るか、委員会のみならず、会員一人一人が取り組まなければならない問題であろう。みなさんの引き出しに会員推薦用紙を入れておいたので、入会していただきたい方がいたら、用紙に記入してクラブ幹事に提出していただけますようお願いいたします。

○卓話 「夔賓閣の庭園」 飛田会員  
 夔賓閣跡は那珂川を見下ろす日和山と呼ばれる孤立丘陵に位置し、湊公園にある。日和山は厚い礫岩層が岩盤の標高 21m の台地で北は遠くに阿武隈山地、東は太平洋、南は那珂川や酒沼川、西は筑波山や遠くに日光連山を望むことができる。江戸時代以前に常陸国を支配していた佐竹氏の時代から那珂湊には「御殿」と呼ばれる別荘が日和山北側の山下あたりに存在していたが、水戸藩第 2 代藩主徳川光圀隠居後の元禄 11 年 (1698 年) 新たな湊御殿が日和山の中央部に建設された。夔賓閣の名称は、光圀が命名したといわれ、中国の儒教の経典「堯天」に由来している。夔賓とは「謹んで導く」という意味で、夔賓閣は応接所の意味を持つ。夔賓閣が位置している日和山は、東・南側は礫岩が露出する岩崖で、北川は上部土層が崩れた崖、西側は天満宮から華蔵院に至る急坂 (七曲り坂) が通り、さらに西方の台地が続く。このような



地形に応じ、北側は竹矢来状の囲、建物の近くは板塀で囲われている。御殿敷地と庭園は芝を張り、南側には2つの築山がある。庭園内には遊歩道が設けられ、東方に御茶屋が建てられている。台地北側の坂道を上ったところに山門があり、御式台から御殿に入るようになっている。御殿は東向きに建てられ、建坪は約300坪（1000㎡）で、一部は地形を利用した二重構造であったと推定される。20畳敷の御座間や御寝所をはじめ、御小姓部屋や御医師部屋など大小30以上の部屋で構成される。第9代藩主徳川斉昭に登用された土佐藩士で農政学者の長島尉信が天保10年（1839年）6月に贅賓閣を訪れた記録が残っている。台地の東側突端部には異国（船）番所があり、囲で庭園と仕切られている。御殿の北側に番所が4か所あり、3か所は板塀の外側、もう1か所は「帰り番所」で御殿に入る門の近くにある。水戸藩主は参勤交代をせず、小石川にあった水戸藩上屋敷に定住し、国元に戻る

ときは、幕府の許可を得て帰国した。帰国中に那珂湊を訪れる機会があり、その時に利用されるのが「湊御殿」、「湊別館」、「浜御殿」と呼ばれた水戸藩主の別荘・贅賓閣である。贅賓閣はその名の通り、貴賓の接待や家臣への慰労などにも用いられた。光圀が御殿入りする際は、華蔵院、願入寺（大洗町）、六地藏寺（水戸市）、久昌寺（常陸太田市）などの近辺の住職が招かれ、懇談・酒宴や詩歌の会が催された。光圀のほか、斉昭など歴代藩主も訪れた。また、贅賓閣には海防館としての機能があったようで、異国船発見の際は湊村はじめ周辺の村々の中から選ばれたものが御殿に詰めて海防に務めるように通達が出されていた。庭園内には樹齢300年以上の枝ぶりの見事な黒松が生育している。この松は光圀が御殿の庭園に植えるために、須磨明石（現在の兵庫県明石市）から苗木を取り寄せたものといわれている。贅賓閣は元治甲子の乱（1864年）で焼失し、その跡地は荒れ果てたままであったものを整備し、明治30年4月に「湊公園」として開園。贅賓閣の跡地は昭和43年1月に市の史跡「贅賓閣跡」として指定され、光圀時代に植えられた松の樹は「湊御殿の松」として12株が昭和46年9月に市の天然記念物に指定された。（\*出典；ひたちなか市観光協会HPより）

## 次回例会

第2143回例会 8月17日（木）  
PM 12:30 ~ 於：例会場  
イニシエーション・スピーチ  
鏡淵会員

## 卓話のスライドより



【日和山の黒松】

今月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。

四つのテスト 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか  
会報委員会 土山 大輔 海老澤 一夫 土子 吉久